技 術 概 要 書　（様式）

技術分類	安全　防災　環境　コスト　(ICT)　品質		
技術名称	Web地域地盤図、Webカルテ集 &Web書庫（利用の広がり）	担当部署	技術部
NETIS登録番号		担当者	井形 秀一
社名等	八洲開発株式会社	電話番号	096-384-3225

技術の概要

１．技術開発の背景及び契機

国土交通省の「国土地盤情報検索サイト KuniJiban」でボーリング情報が公開されたことを受けて、これらのデータに他機関のデータや自社データを統合して扱うことのできる「地盤情報活用システム」（ソフト）を開発した。このシステムは、単にボーリング柱状図を統合して閲覧できるだけでなく、3次元モデリングソフトと連携することで任意の地質断面図を自動で作成することができる。また、データベースに収納された地質情報を視覚的に地図上から取り出して閲覧することもできるので、このソフトは地域の地質コンサルタントの業務効率化に大いに役立つ。

２．技術の内容

この「地盤情報活用システム」は、ダウンロードされたボーリングデータを地図上で統合し一元的に管理することができる。大量のデータを取り扱うこの種のソフトでは検索速度が遅くなりがちであるが、このシステムではストレスを感じることなく高速で表示検索することができる。また、このシステムは、ボーリング柱状図を統合して閲覧できるだけでなく、3次元モデリングソフトと連携させてその地域の標準層序を設定すれば、任意の地質断面図を自動で作成することができる。また、データベースに収納された地質情報（報告書、点検カルテなど）を視覚的に地図上から取り出して閲覧することができるので、「地域のWeb地盤図」、「地域のWeb防災カルテ集」及び「Web報告書庫」等として活用することが可能である。このように地盤情報をデータベース化することにより、調査地の地質･地盤情報を事前に把握し、計画や予備検討を効率的に行うことができるので、業務の効率化に大いに寄与する。

３．技術の効果

ボーリング柱状図の検索だけではなく、社内の各種地質･地盤情報を「地盤情報活用システム」に登録し、地図上で検索できるシステムを構築すると、顧客からの問い合わせに素早く対応できるようになり、サービスの向上につながるのは勿論のこと、いろんな場面でのプレゼンテーションにも役立つ。また、調査や事前検討に必要な資料が机上のPC画面で検索・確認できるので、業務の省力化に大いに役立つ。

４．技術の適用範囲

・最新のボーリングデータに基づく地域Web地盤図を構築することができる。
・登録した道路防災点検などの情報を視覚的にとり出す「Webカルテ集」を地図上に構築することができる。
・登録した報告書情報を視覚的にとり出す「Web書庫」を地図上に構築できる。
・シームレス地質図上に地質･地盤情報を展開できるので、各種説明図の作成やプレゼンテーションに役立てることができる。

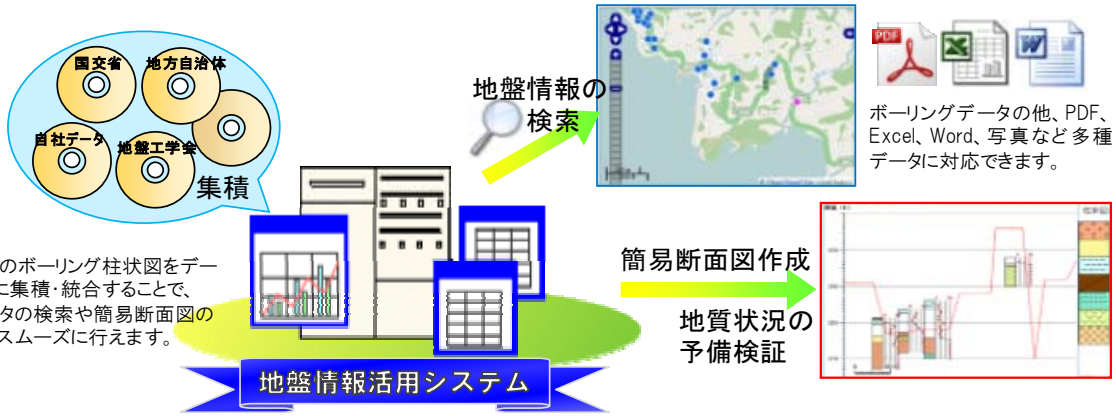
５．活用実績

国の機関　5　件
自治体　2　件
民間　106　件

6．写真・図・表

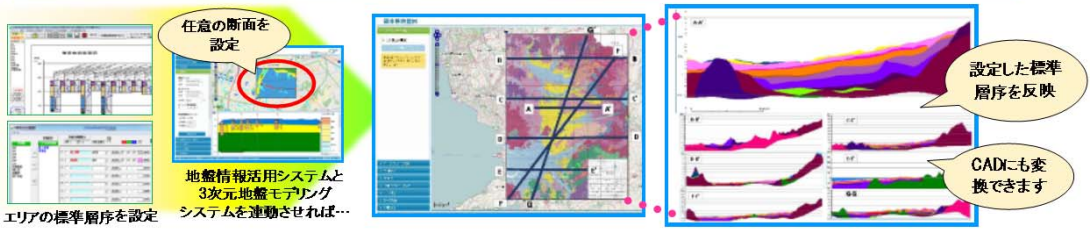
Web地域地盤図、Webカルテ集＆Web書庫（地盤情報活用システムの利用の広がり）

ボーリング柱状図の統合＆活用ソフト「地盤情報活用システム」



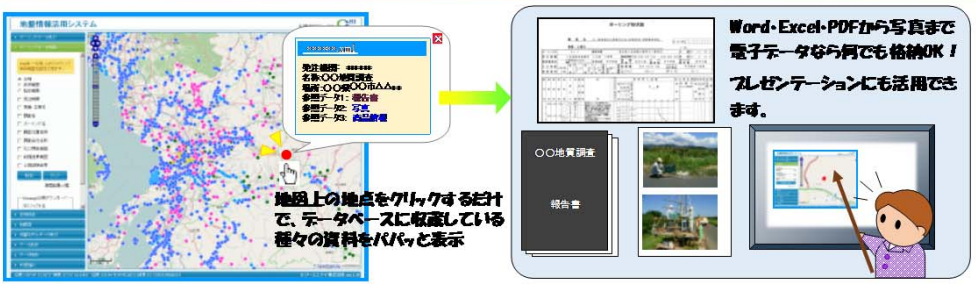
Web 地域地盤図

3次元地盤モデリングシステムとの連動



Web カルテ集

地図上で確認したい地点を選んでクリックすれば簡単にカルテや台帳を確認できる

Web書庫

全ての報告書は地図の中に収蔵――地点クリックでﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽに収蔵した報告書を簡単に取り出せる